

特52-605



1200800514540

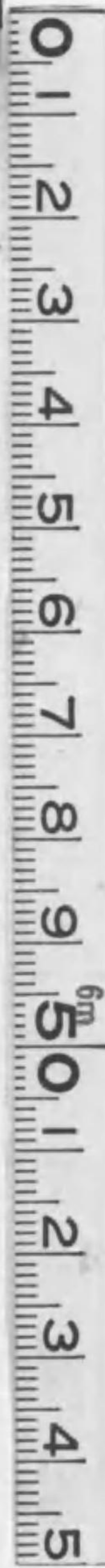
佛徒在家教導

先坤

關無學大禪師題字
柏樹潭海大禪師題字

蘆文學博士南條文雄君題字
匡道大禪師題字

三位勳三等小崎利準君題字



始



佛徒安心

右在家教導ハ素ヨリ教導ノ赤心ヨリ出ツル所ノ者ニシテ聊カ射利ノ爲メニスルニ非ス定價ハ即チ印刷製本ノ實費ヲ償フノ廉價ナリ請フ江湖慈善有力ノ諸君ヨ幸ニ此意ヲ諒シテ多數ツ、購求シ普ク四方貧窮者又ハ囚徒等へモ施與セラレソコナ



柿天著
寺梁述



偶永

乙

世



道在



我乃士



德成

平通

及朱文





君子之

山陰先生年三十三





因明

果白

學因



世
心
是

安
心

八十翁
和
存





佛徒安心在家教導

人の命の無常なる
早きものぞと御經にも
此世に生るゝ人々よ
老少男女諸共に
息ある間に安心を
今端の際となる時に
人々具心の性は
唯一念の迷ひより
迷ふか故に凡夫なり

山より落る水よりも
御説き示し給ふぞや
貴賤上下の隔なく
無常の風の吹ぬうち
定め置ねばあらぬぞや
心を亂して成ものか
元佛心で佛ぞや
凡夫と佛と分るゝぞ
悟れば即ち佛ぞや

されば老少相共に
此世で作したる善悪が
此世は無事で顯はれず
今世來世も顯はれず
顯はる者も有なれば
因果の車の輪の如く
此世に生れ來るのは
山にも川にも海に陸
人に超ゑたる者はなし
前世の業の善惡ぞ
善き業蒔たる證なり

三次の業と云ふが有る
此世で顯はる者も有り
來世で顯はる者も有り
其又先の世に於て
因果の道理を辨へよ
遅いか早いか運り來る
皆是前世の果報ぞや
生るゝ者は多けれど
殊さら人に別あるは
此世で富貴する人は
六根不具や下賤にて

此世で難義する人は
然るに殺生する迎も
益々繁昌するを見て
因果の道理恐るべし
益々繁昌致すのは
未だ盡果ぬ其故ぞ
必ず其業盡るぞや
此世の惡事運り來て
此儘死したる其時は
三惡道へ落入つて
其苦終りて偶々々に

惡業を蒔た證ぞや
此世で報ひ更になく
因果は無しと思へども
遅いか早いか運り來る
前世に蒔た善き業が
此世で盡るか來世にか
其業盡る其時は
難義を身とは成ぬべし
地獄や餓鬼や畜生の
永く苦患を受る予や
漸く人と生るゝも

殺生作したる報にて、
御經に御説き召されたり
左れば心を改めて
善き業達は外になく
兄弟夫婦睦じく
無禮不實も無き様に
身の分限に及ぶ程
鳥も獸も蟲魚も
人の命は限りあり
七十年は稀なるぞ
遅いか早いか死ぬ者ぞ

多病で難義か短命と
來世は此世業による
急ぎ善き業蒔給へ
君にハ忠義親に孝
長幼尊卑の義を守り
善根功德に志ざし
施し惠みも致すべし
情をかけて救はれよ
大概五十六十で
生た身なら是非もなく
人は更々知らねども

四

前世の因縁約束で
十歳前後で死ぬもあり
我子残して死ぬもあり
無くして悲しむ老もあり
頼みにならぬ身の上予
老も若きも用捨なく
臨命終の其の時は
一代作したる罪咎が
其苦みは如何計り
衝立てらるゝ如くなり
妻子眷屬有る連も

生れて直に死ぬもあり
夫どに先立つ妻もあり
杖や柱とねもふ子を
此世は程々様々で
無常の風が誘ひあば
旅立せねばならぬぞや
耳も聞えず眼も見えず
其身に聚り來るなり
百千刀の鋒先で
其時何をか頼むべき
連行事はならぬ予や

五

田畑山林有る迎も
金銀財寶有る迎も
其時持行もの迎は
影の形に随ひて
先のさきまで伴となる
來世は遠く思へども
直きに來世未來なり
若きも油斷ならぬぞや
此身が即ち佛予や
惡き心は未來まで
早く心を改めて

冥土の用には立ぬぞや
持行事は出來ぬ予や
此世で作したる善惡が
其身離れぬその如く
露より脆き身の上予
今にも息が絶るなら
老たる者の猶の事
一文不知の輩らも
惡き心を改めよ
障りと成て身に報ふ
大信心を起すべし

信心作せば自から
因は有ども時ざれば
少しも田畑に時置けば
人々佛性有る迎も
信心作さず自然では
未來往生出來るから
されば諸佛に打向ひ
誓ひを立て、怠らず
稱名念佛唱ふべし
唱ふ其身は佛なり
一聲唱ふ稱名も

惡き心も改まる
此果上つた證據なし
大小此果上る予や
五慾煩惱の我等ゆゑ
木來往生出來ぬぞや
釋迦牟尼佛も世話にせぬ
身口意業清淨に
眞誠の心で經陀羅尼
唱ふ心が眞誠なら
佛が佛を念すれば
諸佛の心に通徹し

諸佛の心に通ずれば
朝日に霜が消ゆ如く
罪咎消ゆる其時は
眞如の月も朗かに
佛は向ふにわらずして
これ唯心の淨土にて
若や悪心起りなば
稱名念佛唱ふべし
煩惱滅ばす利劍ぞや
此一念が彌陀佛ぞ
死後の佛を待たずとも

八
無始より作る罪咎も
自然と罪咎消ゆるぞや
無明の雲も散り失せて
顯れ出る事なれば
此身即ち佛ぞや
己心の彌陀と申すなり
直きに心を取り直し
此稱名や念佛は
唯一念に歸命せよ
煩惱即ち菩提にて
此身即ち佛ぞや

貴賤上下隔てなく
此世は纒か夢の世ぞ
悪き心を改めて
若や疑ふ事あらば
急き安心定むへし
○因果應報の必然の理謹むが上にも慎しむべき事あり
茲に大乘の十來と云ふあり左にしるす

老少男女請共に
無常の風の吹ぬうち
早く安心定むべし
知識に尋て明らか
富貴は慈悲より來る
無病は信心より來る
智恵は精進より來る
短命は殺生より來る
福德は善根より來る
愛敬は忍辱より來る
高位は禮拜より來る
病身は不淨より來る

貧窮は慳貪よる來る 患盲の破戒より來る

慾やめよ慾より罪をよく作る

慾れそろしや慾の身なれば

天 梁

明治廿三年十二月廿三日印刷
全年四月廿四日出版
同廿四年四月十日訂正再版

編輯兼出版者 柿寺天梁

岐阜縣美濃國土岐郡
月吉村三拾番戶

版權所有

印刷者 三成社 岡上甲子之介

愛知縣名古屋住吉町
百四拾三番戶

X-63

施與

姓名御記載ノ



終